

フューチャー・デザイン

持続可能な未来に向けて

気候変動や資源エネルギー問題、政府債務問題やインフラの維持管理など、持続可能性に関わる諸課題は、中長期的な対応を要するまさに世代を超えた問題です。一方、近視性や将来に関する楽観性などといったヒトの特性や、現世代のニーズを満たすうえでは有効であるものの将来世代の利益を反映する仕組みではない市場や民主制などの既存の社会システムの下では、世代を超えるこれらの問題に対処することが困難です。このような世代を超える未来に関わる課題に対処し、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継いでいくためのさまざまな社会の仕組みをデザインする新たな試みが「フューチャー・デザイン」です。現在、様々な専門分野の研究者や、市民、自治体や政府の政策担当者などの実務家も関わ

りながら、フューチャー・デザインに関わる研究や将来ビジョンづくり、政策応用などの実践が進んでいます。

本公開シンポジウムでは、フューチャー・デザインに関わる最新の研究成果やフューチャー・デザインの応用および実践について報告を行うとともに、研究者や一般の方々、産業界、自治体や政府などの公的機関の関係者の皆さまとともに、持続可能な社会のフューチャー・デザインについて考える機会とします。

平成30年 **11月7日(水)**
13:30~17:20

大阪大学吹田キャンパス 银杏会館
阪急電鉄・三和銀行ホール

参加人数：200名

参加登録

お名前、ご所属を記載の上で、
下記のメールアドレスまで
参加希望の旨ご連絡ください

sympo@coire.eng.osaka-u.ac.jp



フューチャー・デザイン

持続可能な未来に向けて

プログラム

- 13:30 開会挨拶
小林 傳司（日本学術会議第一部会員・大阪大学理事・副学長）
-
- 13:40 講演 1『未来社会デザインと工学の役割』
田中 敏宏（日本学術会議連携会員・大阪大学大学院工学研究科長）
-
- 14:20 講演 2『フューチャー・デザイン
: 持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐために』
西條 辰義（日本学術会議第一部会員・
総合地球環境学研究所特任教授・高知工科大学 フューチャー・デザイン研究所長）
-
- 15:00 講演 3『フューチャー・デザイン: 社会科学的観点からの展望』
小林 慶一郎（慶應義塾大学経済学部教授）
-
- 休憩（10分）
-
- 15:50 講演 4『フューチャー・デザインの応用と社会実装』
原 圭史郎（日本学術会議連携会員・大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション
教育研究センター フューチャー・デザイン部門長・准教授）
-
- 16:30 講演 5『フューチャー・デザインとリスクコミュニケーション』
倉敷 哲生（大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻教授）
-
- 17:10 閉会挨拶
林 高史（大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター長）
-
- 17:20 シンポジウム終了

アクセス

大阪大学吹田キャンパス
銀杏会館

阪急電鉄・三和銀行ホール

